

バイオガス発電

当社のサービス

当社は、長年のプラントエンジニアリングの分野で培ってきた技術・プロジェクト管理の経験を踏まえて、電力固定価格買取制度の下でバイオガスエネルギー利活用に取り組もうとされる事業者の皆様を総合的にサポートしていきます。

また、BTSデベロップメント・ライセンサーとして、バイオガス発電事業者となり、地元企業様と連携してプラント設置を推進していきます。



- バイオガス資源の分析調査／環境保全計画／維持管理計画／生活環境影響調査
- 施設の最適構成／立地条件／配置計画／バイオガス利活用のBest mix等のご提案
- 自家処理施設／または廃棄物処分量としての事業展開
- 事業収支計画／採算性の提示
- 施設建設に向けた関係法令／専門サポート
(農用地区域除外申請、農地転用、廃棄物処理法関係、開発行為許可申請…等々)

バイオガス発電の特徴

家畜のふん尿や植物を発酵タンクに入れ、自然発酵の菌を活性化させることで発生するメタンガスを利用し、発電機を回して電力を発生させる仕組み。

オイルやガスを使用し、有機物を燃焼させタービンを回す発電方法に比べ、環境負担が極めて少ない。

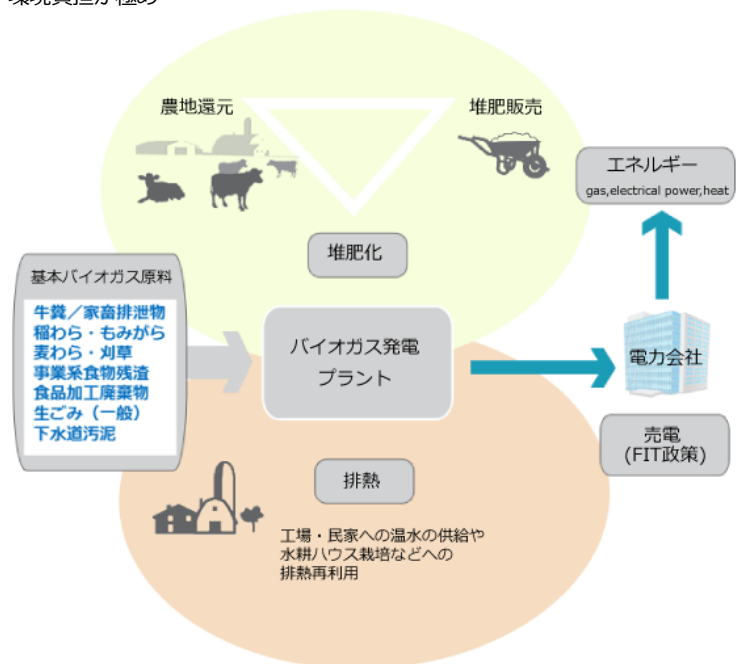
バイオガス発電のメリット

- ◇ 安定した電力を得ることができる
- ◇ 任意の時間に電力を取り出すことができる
- ◇ 有機肥料の販売により、電力以外の収益を確保できる
- ◇ CH4やNO₂、CO₂の削減。

循環型エネルギー社会の構築

バイオガス発電プラント活用による、循環型エネルギー社会の構築が可能となります。

当社の中核となる専門分野は、プラントの設計、製造、及び建設です。生物学者、技術者、及びその他の専門家によって構成されるチームが50kWから1.5MW モジュールのバイオガスプラント向けサービス、コンサルティング、生物学的ケアを提供します。



生ごみを焼却せずに処理できる	家畜排泄物のバイオマス活用
生ごみをバイオガス発電プラントで処理する事により、発電、堆肥製造促進だけでなく、焼却委託費の大幅低減が可能となります。	酪農専業から発生する家畜排泄物の一部を、バイオガス発電プラントにて処理できます。目づ、嫌気性発酵処理の為、悪臭は発生しません。
稲わら・もみ殻で効率良く発電	高品位の有機肥料ができる
バイオガス発生量の多い、稲わら/もみ殻は家畜排泄物の調湿材として使用され、効率良く発電が可能になります。	既設酪農家堆肥化設備での工程時間の大幅短縮。また肥効成分の多い高品質の堆肥製造が可能となります。窒素・リン・カリウム成分量が一般的な畜糞堆肥に比べ、大幅にアップします。

バイオガス発電

BTS社(Italia)バイオガス発電プラント

BTS社は、イタリアに本拠を置く「バイオガス発酵ガス化発電プラント」のトップメーカーであり、バイオガス利活用では先進的なEU圏内にあり数多くの実績を誇る企業です。

BTSバイオガス発電は、最先端のバイオテクノロジーと通信技術を駆使して高効率バイオマス発酵を行い、高効率発電を全自動管理で行い安定供給出来る発電システムです。

施設内外での悪臭や汚染は一切なく、とても清潔で環境負荷のない設備。発酵し尽くした消化液は、大変栄養価の高い有機肥料で安全で健康な食物生産を出来る高収益のアグリビジネスを創出します。バイオマスの有効利用により休耕地の活性化が可能になり、地域への貢献も期待できます。

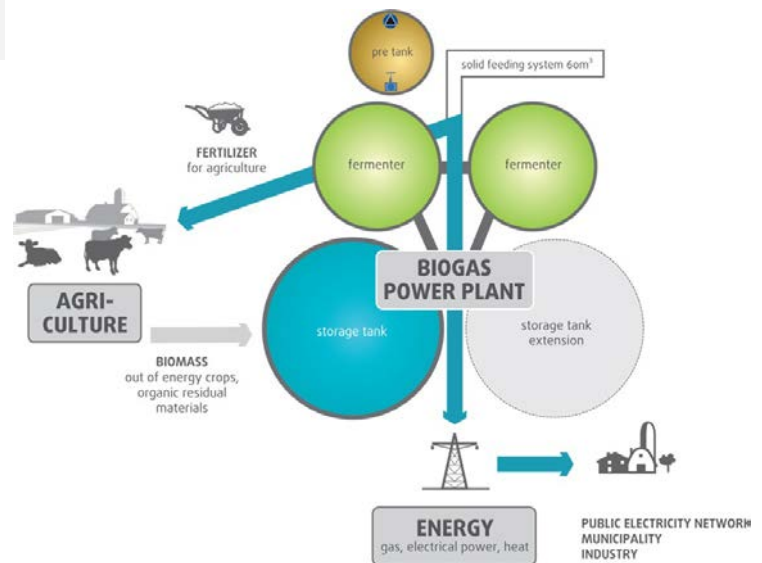
特徴

- 最先端のバイオテクノロジーと通信技術を駆使して高効率バイオマス発酵を行い、高効率発電を全自動管理で行うことにより、安定供給出来る発電システムです。
- 施設内外での悪臭や汚染は一切なく、とても清潔で環境負荷のない設備です。
- 発酵し尽くした消化液は匂いもなく、大変栄養価の高い有機肥料として、安全で健康な食物生産を出来る高収益のアグリビジネスを創出します。
- バイオマスの有効利用で休耕地の活性化が可能になり地域へ貢献します。



実績豊富なBTS社バイオガス発電プラントの優位性

- 年間 8000時間発電機稼働保証プログラム
- 発酵効率の最大化 (他社比較 + 25%)
- 全自動発酵管理 (24/7/365)
- 高品位な有機肥料を副産物として生成
- 循環型社会形成への貢献
- 木質バイオマスを除くバイオマスを発酵出来る (木質はGTSガス化プラント参照)
- 下水道汚泥、生ゴミなど効率良く発電出来る



欧州でのエネルギー事情

ドイツでは2003年にFIT (電力固定買取制度) が施行されてから、当時130基だったバイオガス発電プラントが、2013年において、1900基まで増加しております。

EUの2020年までのエネルギー予測

バイオマス発電は既に安定電力供給源として認識されているがこれから自然エネルギーのより大きな割合を占める。

欧州エネルギー政策

